

グルモハル

JAPANESE SCHOOL OF MUMBAI
Unit No.201/202,Hiranandani Knowledge Park,
Technology Street,Near Dr.L.H.Hiranandani-
Hospital,Powai,Mumbai-400076.India
TEL 022-6694-0630 FAX022-6221-5107
4 MAR/2024 NO9

「スピーチのつどい」より

校長 佐藤 義朗

2月15日、16日に子どもたちによる「スピーチのつどい」が行われ、様々な視点で自分の考えを文章に表現し一人ひとりが堂々と発表していました。以下、紹介します。

「SDGs と実際の世界」

6年 M.W

この夏、私は家族でタージ・マハールを見に行きました。夢にまで見たタージ・マハールはとても美しく、たくさんの観光客でにぎわっていました。そんなタージ・マハールに行く道中、心に残るいくつかの光景を見ました。信号が赤になり私たちが乗った車が止まったとたん、赤ちゃんを抱えた私と同じくらいの女の子がかけよってきました。私が窓のすき間から50ルピーを差し出すと、その子は奪うようにとり赤ちゃんを指さしながらさらにお金を要求してきました。私は、おどろきました。お金をあげたのだから当然お礼を言ってくれると思ったからです。その他にも、道沿いの水たまりで体を洗う家族や歩道で寝ている子どもなど、日本では見ない光景をたくさん見ました。なぜ、私と同じ人間なのに、こんなにも生活がちがうのか、衝撃を受けると同時にとても不思議でなりません。私は、今年の4月にインドのムンバイに来ました。私の父はアフリカ系キューバ人、母は日本人です。私の毎日は、朝起きて朝食をとり、当たり前のように学校に向かいます。放課後はダンスを習ったり家でゲームをしたりしながら過ごし、当たり前のご飯を食べ清潔なベッドで1日を終えます。しかし、今回の旅行を通して今ある暮らしは、決して当たり前ではないということに気づきました。旅先で目にした子どもたちが幸せか不幸せかは、聞いてみないと分からないけど、少なくともあの子たちは毎日の食べ物に困ることなく、学校に通えることができたらいいなと私は思います。

だれもが住みよい地球になるためには、SDGsに掲げられているような様々な課題を解決していく必要があります。特にハーフである私が思う理想の世界は、肌の色で人を差別しない世界、自分の意見を自由に表現できる世界です。そして、インドでの体験を通して考えたのは、誰もが平等に生きられる世界です。誰もが幸せになるために生まれてきて、幸せになる権利があるはずで。

みんなが笑顔で暮らせる社会に近づくために私は何ができるのだろう。12歳の私にはできる事は限られているかも知れないけど私なりに考えてみました。まずは、当たり前だと思っていた今の自分の環境や私を支えてくれる人達に感謝の気持ちをもつことです。そのことで、自分の気持ちが温かくなり、さらに相手もうれしい気持ちになります。もう1つは、想像力を働かせながら勉強することです。そのことで、いろいろな視点で物事を考える力を付けることができます。様々な国の人と話し、たくさんの本を読むことで視野を広げたり考えを深めたりしながら、自分にできることを追求していきたいです。

「住みよい地球」全国小学生作文コンクール2023 準優秀賞受賞

SDGsを柱とした令和5年度の教育活動が終わろうとしています。保護者の皆様、学校運営委員の皆様をはじめ多くの皆様から本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。



インドで活躍する日本人！講演会



1月30日（火）に第6回「インドで活躍する日本人」の講演会が行われ、在ムンバイ日本国総領事館の公邸料理人、池田征人様にお越しいただきました。これまで日本での料理長はもちろん、シンガポール、イタリアはローマのレストランでもその腕をふるわれ、東ティモールやバーレーンでも公邸料理人として活躍されてきました。今まで手がけられた素敵な料理の数々も写真で紹介していただきましたが、「目で味わうとはまさにこのこと。」と感じさせられるとても素晴らしいものでした。イタリアでは「シェフは芸術家として扱われる」ということでしたが、まさにその通りだと納得させられました。

後半は和菓子作り体験に挑戦。練りきりの梅を作る子供たちは集中して真剣な表情で取り組んでいました。作り終わった後は、自分で作った和菓子の梅の出来栄えに、「もったいなくて食べられない。」という言葉もあちこちから聞こえてくるほどでした。

「公邸料理人は来賓を素敵な食事でおもてなしすることで、外交を支えているというやりがいを感じられる。」「一度の人生、時には決断も必要」などの言葉を含め、様々な国でのシェフとしての経験や苦労など、たいへん貴重なお話を伺うことができました。



和菓子づくりなんて今まで経験したことがなかったから楽しかったです。自分で作った和菓子がめちゃくちゃおいしかったです。来てくれてありがとうございました。（小3）

日本文化体験デー

1月24日（水）に日本文化体験デーを行い、「墨絵」「けん玉」「将棋」「百人一首」に挑戦しました。日本にいても時間をとらないとなかなかこうした伝統文化に触れることはできません。今回は楽しみながら日本の遊びや芸術に親しむことができました。



親子レクリエーション

2月4日（日）に親子レクリエーションを行いました。大人も子どもも全力で種目に取り組み、いい汗をかいて家族の思い出を作ることができました。みんなの笑顔もとても素敵でした。

